

■ エネルギー・環境・産業技術関連では、以下のような動きがあった

3 月 22 日号

米議会、2013 年度の継続歳出予算法案を可決

米国上院は、連邦政府機関の閉鎖まで僅か一週間を残すところとなった 2013 年 3 月 20 日に、2013 年度の連邦歳出予算を定める『国防省・軍事施設建設・退役軍人省及び 2013 年度継続歳出予算法案(下院第 933 号議案)』を 73 対 26 で可決。翌日 3 月 21 日には、上院可決の同法案を下院が 318 対 109 で可決し、連邦政府機関の閉鎖が回避されることとなった。

『2013 年度継続歳出予算法案』は大筋では、2012 年度予算水準から自動歳出削減措置(sequestration)の 850 億ドルを差し引いた水準を維持するというもので、2013 年度の自由裁量予算は 9,840 億ドルとなっている。

同法案は継続歳出予算法案の為、各省庁の予算の詳細には触れていないが、ここでは、『2013 年度継続歳出予算法案』に明示されているエネルギー省(DOE)の一部プログラム、及び、商務省の国立標準規格技術研究所(NIST)予算を 2012 年度予算と比較して紹介する。

(単位:100 万ドル)

	2012 年度予算	2013 年度予算
エネルギー省		
エネルギー効率化・再生可能エネルギー(EERE)	1,809.6	1,814.1
原子力科学技術	765.4	759.0
科学部	4,873.6	4,876.0
ARPA-E	275.0	265.0
国立標準規格技術研究所(NIST)		
科学的・技術的研究事業(STRS: Scientific and Technical Research and Services)	567.0	621.2
産業技術事業(ITS: Industrial Technology Service)	128.4	143.0
- 製造技術普及計画(MEP)	128.4	128.5
- 先進製造技術コンソーシアム(AMTech)	—	14.5
研究施設建設(CRF: Construction of Research Facilities)	55.4	60.0

(下院第 933 号議案、FY 2013 DOE Budget Highlights、NIST FY 2013 Budget Overview を基に NEDO ワシントン事務所が作成)

(Science Insider, March 21, 2013; Legislative Digest “H.R. 933 Amendment,” March 20, 2013; “An Act making appropriations for the Department of Defense, the Department of Veterans Affairs, and other departments and agencies for the fiscal year ending September 30m 2013, and for other purposes,” March 20, 2013); FY 2013 DOE Budget Highlights; NIST FY 2013 Budget Overview)